

【File No. 13 | 送り神 おくりがみ】



子どもたちが町内をくまなく回る

送り神は、稲の害虫駆除ともなる夏の厄払い行事である。かつては全国的に行われ、市内でも明治、大正のころには各地区で行われていた。戦後に入ると農薬の普及などもあって次第に行わなくなる地区が多くなり、現在では、大井町御所の前、東野、武並町竹折宿地区、申原に残るだけとなってしまっている。

大井町御所の前の送り神は、市無形民俗文化財に指定されており、地区を挙げて保存継続されている。男女2体の麦わら人形やそれを持つ水着姿の子どもたちに、お椀や鉢に入れた塩水をナンテンの葉で掛け、我が家の災厄を送り出す。町内をくまなく回り、全ての家の災厄を背負った2体の麦わら人形は、阿木川まで子どもたちに送られ、そこに納められる。子どもたちも、体に塗った墨を洗い流して行事は終了となる。

ひとロメモ

一説には300年以上の歴史を持つといわれる大井町御所の前の送り神。ことしは6月29日の午後1時ごろに阿弥陀堂を出発する。かつては、毎年7月1日と決められており、行事の後、子どもたちが川で体を洗い流すその日が、阿木川の水泳解禁日になっていた。

恵那写真館

私の大好きな1枚
(撮影地：長島町久須見)

よしあき
長島町 安藤嘉章さん



笠置橋や工事中的新東雲橋、大井ダム、恵那峡大橋が一望できる市内唯一のビューポイントです。景観を守るために、整備していただいた地主さんに感謝。



長島町久須見地区からの眺望

皆さんの
大好きな風景を
気軽に応募く
ださい！

□応募方法 写真か画像データと①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④題名⑤写真の場所(町名)⑥お薦めの理由(70字以内)一を記入した用紙を持参するか郵送、電子メールで総合政策課広報広聴係へ提出する。

次号は
6月15日号
発行日は
6月13日(金)です



広報えな No.221
2014年(平成26年)
6月1日発行

発行 恵那市役所/編集 総合政策課広報広聴係
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
☎(0573)26-2111/☎25-6150/(IP電話)050-5808-9521
<http://www.city.ena.lg.jp/> ☒ info@city.ena.lg.jp

『広報えな』6月1日号、
1部当たりの印刷経費は
約10.9円(税込み)です。



◀市ウェブサイト
(閲覧用QRコード)
あなたの知りたい情
報を分かりやすく提
供しています。



◀市メール配信サービス
(登録用QRコード)

音声告知放送の文字版ページ▶
(閲覧用QRコード)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。またインキは石油系ではなく、地球に優しい植物油を使用したもので印刷しています。

